事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0096
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　誠
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課　記入者　清水　友美子
事務事業番号　00457　総合保健対策事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	地域医療と保健衛生の確保			
取組の方向性	001	地域医療の充実			
事務事業	006	総合保健対策事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	（事業概要） 地域保健対策の推進のため、市内３か所の看護学校の運営に対して補助金を交付するとともに、献血推進、地域職域連携などに関する事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 医療の高度化や急速な高齢化の進行、新興感染症への対応などに伴い多様化する医療ニーズに対応するため、看護職員の確保を図っていくことが求められている。また、市民の健康増進を図るため地域や職域での健康づくりの取組が求められている。 （見直しや改善等の経過） 医療現場だけでなく、福祉施設等においても看護職の需要が高まってきていることから、看護学校への補助金を継続し、補助金制度適正化方針により設定している補助金の終期を令和１０年度に延長している。また、令和３年度から骨髄等移植ドナー助成事業を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	関係機関、団体及び市民を対象に
目的(何のために)	地域の保健医療の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	看護学校への運営補助及び骨髄等移植ドナーへの助成金を交付するとともに、各事業の実施にあたっては、関係機関、団体と連携を図り事業を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が生き生きと健康で安心して生活できる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	12,736	11,857	12,055	12,045	10,845	10,845	10,845
事業費	7,666	7,137	7,335	7,325	6,125	6,125	6,125
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	350	70	140	140	140	140	140
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,316	7,067	7,195	7,185	5,985	5,985	5,985
人件費計	5,070	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720
事務・技術（人）	0.65	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0096
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
事務事業番号　00457　総合保健対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-01-00	総合保健対策事業費	健康福祉部保健所保健総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00
		6,800.00	6,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)献血会場の提供回数	回	5.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00	80.00	80.00	80.00	50.00	50.00	50.00
		53.00	49.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)献血者数	人	510.00	510.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		480.00	473.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	看護職の養成に係る運営補助を市が積極的に取り組む必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	看護学生の減少により合格者数がやや減少している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	成果指標が減少、費用対効果がやや下がっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域医療における人材及び資源の確保に繋がっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民が健康で安心して生活するため、多様化する医療ニーズに対する医療人材及び医療資源等の確保を行っていくことが必要である。医療人材の安定的な確保に向けて、補助事業を通じた学校運営支援を継続する。献血事業については、献血の意義及び必要性に関する啓発活動を特に若年層向けに引き続き推進し、献血者の安定的な確保を図る。骨髄等移植ドナー助成金については、市民及び事業者への周知に努め、骨髄等移植の推進に努める。また、地域や職域などの関係団体との連携強化により市民の健康増進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	本市における医療人材及び医療資源の確保のため、看護学校への運営補助の継続により、地域における医療人材の安定的な確保に努めるとともに、引き続き、献血及び骨髄等移植ドナー助成事業について市民・事業者等へ広く周知し、地域の医療資源の確保を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00457　総合保健対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00 6,800.00	6,800.00 6,800.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00
	指標説明	看護学校の運営に関し補助金を交付						
(活動)献血会場の提供回数	回	5.00 5.00	5.00 5.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	献血会場の提供回数						
(成果)看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00 53.00	80.00 49.00	80.00 0.00	80.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	補助する看護学校における看護師及び准看護師試験合格者数						
(成果)献血者数	人	510.00 480.00	510.00 473.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	全血献血の献血者数の合計人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0097
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　誠
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課　記入者　戸倉　俊輔
事務事業番号　02380　健康危機管理体制整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	004　健康危機管理体制整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地域保健法、大津市保健所条例				
事業概要	（事業概要） 健康危機事案が発生した場合に、迅速かつ効果的な対応を行うため、平常時より健康危機事案の発生に備えて事前に講じられる対策を検討する。 災害発生時において関係機関等と連携を図り医療救護活動等を円滑に進める体制整備を行う。 災害発生時に備えるため、医薬品の備蓄や災害対策備品の確保と維持を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境）近年、巨大地震や頻発する豪雨災害など、自然災害による甚大な被害が懸念されていることに加え、新型インフルエンザ等を含めた新興感染症危機など、次の脅威に備えるため、健康危機管理体制の一層の強化が求められている。 （見直しや改善等の経過）新型インフルエンザ等感染症の感染状況に応じ外部リソースの活用や感染拡大時における全庁的な職員応援体制の整備等を進め、令和８年３月には本市における新型インフルエンザ等対策行動計画の改定を行った。また、健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、防災訓練及び研修等を実施し、災害時の人材育成はもとより、過去の経験を伝承し、職員の災害対応能力の更新・向上に努めた。あわせて、大規模災害時の医療救護活動等に必要な災害対策用品について、感染症対応も含め、備蓄の充実強化を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係機関及び団体を対象に
目的(何のために)	健康危機事案の発生を未然に防止するとともに、健康危機事案が発生した場合においても、市民の生命と健康の安全確保を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	関係機関が連携して対応ができる体制の整備、健康危機事案を想定した訓練の実施及び備蓄医薬品等を維持管理することで
成果(どのような状態にするのか)	災害医療救護活動等を円滑に進めることにより、市民の生命と健康の安全確保を図ることができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	8,599	10,685	9,861	10,983	10,983	10,983	10,983
事業費	2,905	3,245	2,661	3,543	3,543	3,543	3,543
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,905	3,245	2,661	3,543	3,543	3,543	3,543
人件費計	5,694	7,440	7,200	7,440	7,440	7,440	7,440
事務・技術（人）	0.73	0.93	0.90	0.93	0.93	0.93	0.93
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0097
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
事務事業番号　02380　健康危機管理体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-21-00	健康危機管理体制整備事業費	健康福祉部保健所保健総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00 5.00	4.00 9.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	60.00 141.00	100.00 90.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康危機管理体制の整備は市の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	災害時の保健医療活動体制構築のための訓練等を実施している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	関係機関と連携し健康危機管理体制の強化を図っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	健康危機事案発生時に即応するための体制を強化している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	大津市総合防災訓練等を活用して、三師会をはじめ、関係機関との連携強化を含めた災害対応訓練、ＤＭＡＴとの連携訓練を実施した。また、次の感染症危機に備え、大津市感染症業務支援隊の更新を行うとともに、健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、関係機関と平時から情報共有及び連携体制について協議する場として大津市健康危機管理対策協議会等を開催し、緊密に連携を図ってきた。今後、より実効性のある訓練や研修の更なる充実により、職員の健康危機への対応能力の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	自然災害はもとより、新型インフルエンザ等の健康危機事案への対応能力の更なる強化に向け、三師会をはじめ関係機関・団体との連携を密にするなど、引き続き健康危機管理体制の整備に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02380　健康危機管理体制整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00 5.00	4.00 9.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練及び研修の実施回数						
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	60.00 141.00	100.00 90.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練及び研修への参加者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0098
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　誠
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課　記入者　宮本　若葉
事務事業番号　02391　健康おおつ２１推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	生涯にわたる健康づくりの推進			
取組の方向性	001	生活習慣病予防と健康寿命の延伸			
事務事業	003	健康おおつ２１推進事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	（事業概要） 健康増進法に基づき令和５年度に策定した第３次計画を、市民や関係団体等に周知するとともに、その目標達成に向けた各種関連事業を推進していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 個人の取組に加え社会全体で個人の健康を支え、健康づくりに取り組める環境を整えることが求められている。 令和５年に国の健康日本２１（第三次）が策定され、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開とより実効性をもつ取組の推進を通じて、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な事項が示された。 （見直しや改善等の経過） 令和５年度に健康おおつ２１（第３次計画）・第４次大津市食育推進計画を策定した。 令和７年度に健康おおつ２１（第３次計画）・第４次大津市食育推進計画専門部会を開催した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係団体、民間事業者などを対象に
目的(何のために)	市民一人ひとりがともに支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、すこやかで心豊かに生活できる健康なまちづくりを目指すため
手段(どのようなやり方で)	健康おおつ２１（第３次計画）に基づき、市民の健康づくりのための保健事業を総合的に推進する。社会全体で市民の健康を支え、守るための環境整備に努めることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが健康づくりに取組むことにより、健康寿命が延伸される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,159	4,267	4,363	4,287	11,327	6,625	4,287
事業費	103	107	203	127	3,327	225	127
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	103	107	203	127	3,327	225	127
人件費計	4,056	4,160	4,160	4,160	8,000	6,400	4,160
事務・技術（人）	0.52	0.52	0.52	0.52	1.00	0.80	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0098
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
事務事業番号　02391　健康おおつ２１推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-23-00	健康おおつ２１推進事業費	健康福祉部保健所保健総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)すこやか相談所が実施する健康教育実施回数	回	0.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00	240.00
		0.00	266.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)健康おおつ２１推進会議開催回数	回	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康おおつ２１計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		57.70	35.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康おおつ２１応援団の登録事業所数	件	0.00	62.00	67.00	72.00	77.00	82.00	87.00
		0.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康おおつ２１計画のもと市は健康づくりを推進する必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	健康おおつ２１応援団の登録事業所数が増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業を体系的にまとめ、効率的に実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	健康寿命と平均寿命は高い水準を維持してる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	健康おおつ２１（第３次計画）・第４次大津市食育推進計画に基づき、全ての市民が生涯を通じて、健やかに心豊かに生活できる持続可能な社会を実現するため、誰一人取り残さない生涯を通じた健康づくりを推進する。 毎年度実施する健康おおつ２１・大津市食育推進計画専門部会での進捗管理を踏まえ、今後も計画に沿って効果的に事業を推進していく。 健康おおつ２１応援団の登録事業所数拡大に向けた活動を推進するとともに、登録事業所との連携をさらに深める。また、健康フェスティバル等を活用し、市民の健康寿命に関する意識啓発に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	健康おおつ２１（第３次計画）・第４次大津市食育推進計画に掲げた施策を確実に推進していく。健康おおつ２１応援団の登録事業所数を拡大するための取組を推進するとともに、健康おおつ２１応援団との連携の強化を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1440　健康福祉部保健所保健総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02391　健康おおつ２１推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)すこやか相談所が実施する健康教育実施回数	回	0.00 0.00	240.00 266.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00
	指標説明	各すこやか相談所が実施する健康教育の回数 変更理由:健康おおつ21計画に基づいた、地域の保健活動を表す指標であるため。（R7年度に変更）						
(活動)健康おおつ２１推進会議開催回数	回	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	健康おおつ２１推進会議開催回数 削除理由:健康おおつ21計画の活動状況を表す指標に変更するため。（R7年度に削除）						
(成果)健康おおつ２１計画平均進捗率	%	60.00 57.70	60.00 35.90	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	健康おおつ２１計画評価において、評価対象事業の目標に対する進捗率の平均値						
(成果)健康おおつ２１応援団の登録事業所数	件	0.00 0.00	62.00 70.00	67.00 0.00	72.00 0.00	77.00 0.00	82.00 0.00	87.00 0.00
	指標説明	健康おおつ２１応援団の登録事業所数 追加理由:事業所と連携した健康づくり活動を表す指標であるため。（R7年度に追加）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0099
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　龍池　和隆
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課　記入者　友岡　昌代
事務事業番号　02586　在宅医療・介護連携事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004　高齢者の福祉・介護の充実と活躍推進				
取組の方向性	001　認知症施策の充実と地域包括ケアの推進				
事務事業	058　在宅医療・介護連携事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	介護保険法				
事業概要	（事業概要） 介護保険法における地域支援事業の一つに位置付けられている。在宅医療・介護の必要な市民が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、在宅医療連携拠点の整備、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して医療福祉の推進を図る。また、大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市において医療・介護関係者、行政が地域の課題を共有し、それに応じた取組を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢化の進展に伴う、在宅医療・介護への多様なニーズに対応するために、地域の実情に応じた医療介護連携の推進・充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） 拠点訪問看護ステーションでは、医療介護連携の中核として、地域の医療・介護の専門職から相談を受け、課題解決を図っている。また、地域包括支援センターでは、地域課題に応じた在宅医療・介護に関する市民啓発活動を実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的（何のために）	市民の誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段（どのようなやり方で）	在宅医療連携拠点の運営、在宅療養支援体制の整備、在宅療養・看取りについての普及・啓発などの「在宅医療・介護連携推進事業」を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	市民が在宅療養に対する理解を深め、安心して在宅療養を選択することができる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	20,709	23,914	24,815	25,152	25,152	25,152	25,152
事業費	14,079	16,314	17,215	17,552	17,552	17,552	17,552
国庫支出金	5,421	6,281	6,628	6,758	6,758	6,758	6,758
県支出金	2,711	3,141	3,314	3,379	3,379	3,379	3,379
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,238	3,753	3,960	4,036	4,036	4,036	4,036
一般財源	2,709	3,139	3,313	3,379	3,379	3,379	3,379
人件費計	6,630	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
事務・技術（人）	0.85	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0099
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課
事務事業番号　02586　在宅医療・介護連携事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-07-00	在宅医療・介護連携事業費	健康福祉部介護保険課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)合同研修会の開催回数	回	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)市民啓発活動の開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		8.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	285.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		203.00	208.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民啓発活動の参加者数	人	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		672.00	658.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民啓発活動の参加者数が目標値を大きく超えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域包括支援センターが、他事業と連動しながら事業実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	在宅医療・介護連携推進事業は施策目標に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度より更なる在宅医療・介護連携推進のため、目指す方向性や地域課題の共有、事業の成果を評価するため、新たに全体会議を開催した。また、７つの保健福祉ブロックにおける在宅療養や看取りに関する市民啓発等、活動に協力いただける医療・介護専門職を募り、延べ２００人以上の協力者が集まった。さらに、入院から在宅療養への円滑な移行につなげるため「大津保健医療圏域における入退院支援の手引き」を改訂し、関係者に周知できた。今後は、多職種協働による在宅医療・介護連携を円滑に進めるため、医療・介護関係者とともに目指す姿や取組について整理していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	在宅医療・介護連携を推進するため、全体会議で医療・介護関係者とともに目指す姿や取組の整理を進めるとともに、拠点訪問看護ステーションを起点とした医療・介護関係者への相談支援や、在宅医、訪問看護ステーション及びケアマネジャーとのネットワーク構築に取り組む。また地域包括支援センターを起点とした市民啓発に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　　進捗区分　評価完了
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02586　在宅医療・介護連携事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)合同研修会の開催回数	回	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	拠点訪問看護ステーションが医療・介護専門職を対象として実施する合同研修会の回数 令和７年度より活動指標として新設する。						
(活動)市民啓発活動の開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		8.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	在宅療養・看取りに関する市民啓発講座等（ブロック分）						
(成果)拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	285.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		203.00	208.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	医療・介護専門職からの相談対応件数。令和７年度より活動指標から成果指標に変更する。						
(成果)市民啓発活動の参加者数	人	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		672.00	658.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	在宅療養・看取りに関する市民啓発講座等（ブロック分）の参加者数。啓発物の配布のみは除く。						
(活動)拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	285.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		203.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	令和6年度までの成果指標の廃止に伴い、令和7年度から本指標を活動指標から成果指標に変更する。						
(成果)医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		78.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	ケアマネの不安割合は、調査時の担当状況等による実績値の変動が大きく、令和６年度末指標を廃止とする。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0100
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　龍池　和隆
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課　記入者　友岡　昌代
事務事業番号　03761　地域医療推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	001　地域医療の充実				
事務事業	009　地域医療推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	医療法、滋賀県保健医療計画				
事業概要	（事業概要） 在宅医療・介護の必要な市民が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、訪問診療・訪問看護体制の強化及び医療・介護連携推進事業、地域リハビリテーション支援体制整備事業を推進する。医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して地域医療の充実を図るため、各種協議の場を設置し、事業を展開している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢化の進展に伴い、在宅医療・介護への多様なニーズに対し、保健、医療、介護、福祉等の各サービスが包括的、継続的に提供されるために、地域の医療提供体制の整備・充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） 訪問診療の体制強化に向け、病院が訪問診療を実施している医療機関をバックアップする体制を構築した。 また、質の高い訪問看護サービスが安定的に供給されるよう、機能強化型訪問看護ステーションの整備を進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的（何のために）	市民が住み慣れた地域で安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段（どのようなやり方で）	訪問診療・訪問看護体制の強化、地域リハビリテーション支援体制の整備充実等、「第４期大津市保健医療基本計画」及び「第９期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づく各施策を展開することで
成果（どのような状態にするのか）	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	32,976	33,889	41,461	37,181	37,181	37,181	37,181
事業費	23,616	24,289	31,861	27,581	27,581	27,581	27,581
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	23,616	24,289	31,861	27,581	27,581	27,581	27,581
人件費計	9,360	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
事務・技術（人）	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0100
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課
事務事業番号　03761　地域医療推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-02-00	地域医療推進事業費	健康福祉部保健所地域医療政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助申請受付件数	件	5.00 4.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
(活動)地域リハビリテーション関係研修会開催数	回	6.00 4.00	6.00 4.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	3.00 4.00	3.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
(成果)地域リハビリテーション関係研修会参加施設、事業所数	施設	145.00 91.00	145.00 71.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	在宅医療の提供体制の強化につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	在宅医療関係者の確保と質が向上している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	在宅医療の体制強化により地域医療の充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	訪問診療の体制強化として、訪問診療を実施する診療所をバックアップする体制を３つの病院で継続してきたが、令和７年度に１病院増え、４病院体制となった。また、質の高い訪問看護を安定的に供給できる機能強化型訪問看護ステーションを整備し、連携強化に努めている。令和５年度に創設した訪問看護拡充事業を継続し、更なる体制整備を進めている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	住み慣れた地域で安心して在宅療養できる支援体制を構築するため、これまで訪問診療の体制強化（病院によるバックアップ体制の構築）に取り組んでおり、更に令和５年度から訪問看護の体制強化（機能強化型訪問看護ステーション数の増加）を実施しており継続中である。今後の超高齢社会の進展による訪問診療の需要増加に対応できるよう、更なる訪問診療及び訪問看護の体制強化に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1449　健康福祉部保健所地域医療政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　03761　地域医療推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助申請受付件数	件	5.00 4.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	機能強化型訪問看護ステーションを整備するために、補助申請した事業所数						
(活動)地域リハビリテーション関係研修会開催数	回	6.00 4.00	6.00 4.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	地域リハビリテーション関係従事者研修会						
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	3.00 4.00	3.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	機能強化型訪問看護ステーションを届け出ている事業所数						
(成果)地域リハビリテーション関係研修会参加施設、事業所数	施設	145.00 91.00	145.00 71.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00
	指標説明	地域リハビリテーション参加事業所数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0101
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　服部　賢一
所属　1441　健康福祉部保健所衛生課　記入者　安田　敬子
事務事業番号　00503　食品衛生自主管理推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	003　食品衛生自主管理推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	食品衛生法、食品安全基本法				
事業概要	食品等事業者の自主衛生管理を推進するため、講習会の開催、動画配信等を行うとともに、滋賀県食品衛生協会に対して食品関係営業施設への巡回活動を委託し事業者への自主衛生管理意識の定着を図る。 また、食品等事業者の衛生水準の意識向上を図るため、食品衛生功労者及び食品衛生優良施設に対する表彰を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 2021年にＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の制度が完全施行され、約4年が経過した。対象となる食品の種類が多岐にわたるだけでなく、多種多様な業種や規模の食品事業者が混在しているため、画一的な普及を進めることは困難な状況にある。特に小規模事業者においては、馴染みの薄い科学的根拠の理解や、文書化・記録管理といった作業負担が、普及定着に向けた障壁となっている。 （見直しや改善等の経過） 「ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理」の普及定着に向け、講習会の開催や動画配信を行うとともに、食品衛生推進員の知見や経験を活かし、飲食店や小規模事業者を支援する体制を整備している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	食品等事業者、従事者及びその関係団体等を対象に
目的（何のために）	食品等事業者自らが衛生管理を推進して、食品衛生水準の向上が図られるために
手段（どのようなやり方で）	講習会、動画配信、食品衛生推進員による関係営業施設への巡回活動の委託及び優良施設等の市長表彰を行うことにより
成果（どのような状態にするのか）	食品等事業者は、自らが食品の安全確保に関して第一義的責任を有していることの認識を持ち、食品安全に係る自主的な衛生措置を講じるようになる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	8,609	7,676	6,133	6,474	6,474	6,474	6,474
事業費	1,199	1,276	1,333	1,674	1,674	1,674	1,674
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,199	1,276	1,333	1,674	1,674	1,674	1,674
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	7,410	6,400	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術（人）	0.95	0.80	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0101
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1441　健康福祉部保健所衛生課
事務事業番号　00503　食品衛生自主管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-15-00	食品衛生自主管理推進事業費	健康福祉部保健所衛生課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00 12.00	15.00 9.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
(成果)営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00 473.00	600.00 370.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
(成果)高度自主衛生管理実施施設数	施設	24.00 25.00	25.00 26.00	26.00 0.00	27.00 0.00	28.00 0.00	29.00 0.00	30.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	食品衛生法に基づき市が実施することは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	高度自主衛生管理実施施設が1件増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	許可継続時の動画配信でR7年度HACCP導入率は64%を達成			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	食品施設の衛生確保、食品の安全確保に繋がり、貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	「ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理制度」導入から４年が経過し、その導入率は６４％となり、また、より高度な衛生管理に取り組む「大津市ＨＡＣＣＰ適合証明」を取得する施設も増加しているなど、着実に同制度の普及、定着を図ることができている。今後も食品等事業者の自主衛生管理意識の更なる向上を図るため、従来の集合形式の講習会に加えて動画配信やリモート講習会を取り入れるなど知識習得機会の充実を図り、食品衛生監視員や本市が委嘱する食品衛生推進員による的確な助言・指導を行なっていく。 なお、成果指標である「営業者対象自主衛生管理講習会受講者数」は従来の集合形式の講習会を想定したものであり、今後は受講者をカウントできない動画配信等の機会も増やしていくことから目標値の再設定を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市内の食品等事業者が関係法令を遵守し、制度化された衛生管理を実施できるよう、規模に応じたきめ細やかな指導を行い、関係団体との連携を密にしながら、効率的かつ効果的に事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1441　健康福祉部保健所衛生課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00503　食品衛生自主管理推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00 12.00	15.00 9.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の実施回数						
(成果)営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00 473.00	600.00 370.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の受講者数						
(成果)高度自主衛生管理実施施設数	施設	24.00 25.00	25.00 26.00	26.00 0.00	27.00 0.00	28.00 0.00	29.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	ＨＡＣＣＰ適合証明制度等の高度な自主衛生管理に取り組んでいる施設						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0102
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　新野　道郎
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター　記入者　西田　健吾
事務事業番号　00496　動物愛護管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	003　動物愛護の推進				
事務事業	001　動物愛護管理事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律・滋賀県動物の保護および管理に関する条例				
事業概要	（事業概要） 法及び条例に基づき、動物が命あるものであることを基本に、動物について関心と理解を深め、動物を適正に取り扱い、飼養管理することにより、人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現に向けて、犬猫の飼い方指導や相談、飼えなくなった犬猫の引き取りや飼い主不明の犬猫の保護とそれらの譲渡などを行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 収容される犬の返還率は高水準であり、収容前に所有者が判明する事例も増加傾向であるものの、犬の鳴き声や野良猫への餌やり、多頭飼育に関する苦情相談は、依然としてセンターに寄せられている。 なお、改正動物愛護管理法の施行により、令和４年６月１日から犬・猫へのマイクロチップの装着が原則として義務付けられている。 （見直しや改善等の経過） 全体として苦情相談件数は減少傾向だが、飼育放棄相談やその他犬猫により生じる生活環境被害に関する苦情は一定寄せられており、適正飼養等に関する普及啓発を継続することで、人と動物が共生する社会を目指す。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	犬猫の飼い主もしくはこれから犬猫を飼おうと考えている人に
目的(何のために)	人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現のため
手段(どのようなやり方で)	犬猫を適正に、また終生飼養することを学んでいただくための講習会等を開催し、飼い主等の意識を高めることで
成果(どのような状態にするのか)	犬猫の返還・譲渡率を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,010	14,367	14,503	15,325	15,325	15,325	15,325
事業費	6,470	3,067	3,043	4,025	4,025	4,025	4,025
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	511	694	1,184	1,030	1,030	1,030	1,030
一般財源	5,959	2,373	1,859	2,995	2,995	2,995	2,995
人件費計	10,540	11,300	11,460	11,300	11,300	11,300	11,300
事務・技術（人）	1.10	1.10	1.12	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用（人）	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0102
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
事務事業番号　00496　動物愛護管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-01-00	動物愛護管理事業費	健康福祉部保健所衛生課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)飼い方講習会等の参加者数	人	390.00 181.00	390.00 231.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00
(成果)返還・譲渡率（犬）	%	90.00 100.00	90.00 87.50	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	動物愛護の普及啓発等は、動物愛護管理法による市の事務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	返還・譲渡率について高い水準を維持している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	犬猫の飼い方講習会等の実施により適正飼養の啓発ができている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	人と動物が共生する社会の実現に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	飼い主に対しては、飼い方講習会等の主催事業を通じ、適正飼養の周知啓発を行うとともに、市民へはホームページ等により動物愛護精神の醸成を図っており、人と動物が共生する社会づくりに資するため、引き続き着実に事業を推進していく。また、多頭飼育問題については、その補助金を活用し、関係機関等と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	返還・譲渡率は、高い水準を維持しており、今後も飼い主の適正飼養の意識向上を図るとともに、譲渡を推進し、殺処分のゼロを目指す。また、多頭飼育対策については、関係機関等と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00496　動物愛護管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)飼い方講習会等の参加者数	人	390.00 181.00	390.00 231.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00	390.00 0.00
	指標説明	適正飼養や終生飼養についての講習を受けた人数						
(成果)返還・譲渡率（犬）	%	90.00 100.00	90.00 87.50	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	収容頭数に占める返還・譲渡数の割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0103
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　新野　道郎
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター　記入者　西田　健吾
事務事業番号　00497　狂犬病予防事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	008	地域医療と保健衛生の確保			
取組の方向性	003	動物愛護の推進			
事務事業	002	狂犬病予防事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	狂犬病予防法・大津市狂犬病予防法施行細則				
事業概要	（事業概要） 平成１２年度から、市の事業として狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のために、犬の登録や狂犬病予防注射事務を実施している。４、５月の集合注射の実施や県内の動物病院でも登録と予防注射ができるよう滋賀県獣医師会に事務を委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 日本では狂犬病予防法により、犬からの狂犬病は６０年以上発生していないが、海外から不正に上陸する犬や野生動物での発生の危険性はあるため、引き続き本事業を推進していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 集合注射案内はがき及び注射履歴未確認者への確認はがきの送付による狂犬病予防注射の周知・啓発及び犬の登録の適正化を図っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	大津市内で飼養されている犬の飼い主に
目的（何のために）	狂犬病の発生予防とまん延防止を図るため
手段（どのようなやり方で）	狂犬病予防集合注射の実施や、一部事務を滋賀県獣医師会へ委託し、県内の動物病院で年間を通じて注射と登録を実施するとともに、犬の登録・予防注射の周知、啓発を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	犬の登録や予防注射接種率を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	21,474	21,069	22,111	21,308	21,308	21,308	21,308
事業費	8,134	6,691	7,733	7,310	7,310	7,310	7,310
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,134	6,691	7,733	7,310	7,310	7,310	7,310
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	13,340	14,378	14,378	13,998	13,998	13,998	13,998
事務・技術（人）	0.70	0.82	0.82	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
会計年度任用（人）	0.52	0.57	0.57	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0103
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
事務事業番号　00497　狂犬病予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-16-00-01-00	狂犬病予防事業費	健康福祉部保健所衛生課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)狂犬病予防注射確認はがき送付枚数	枚	5,200.00 5,664.00	5,200.00 5,572.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00
(成果)狂犬病予防注射接種率	%	80.00 79.50	80.00 79.10	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	犬の登録等は、狂犬病予防法に基づく市の事務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	狂犬病の伝播サイクルを断つとされる接種率７０%を超えている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	集合注射会場は、実施頭数に則して設定している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	国内において犬から人への狂犬病感染が発生していない。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	集合注射での接種頭数は年々減少している一方で、動物病院での注射頭数は増加しており、接種率も狂犬病の伝播を断つとされる７０%を超えている。今後も集合注射会場の統廃合や実施時間を継続的に見直しながら、接種率の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	集合注射は、限られた時間や人員を有効に活用して事業を実施するため、これまでの実績を踏まえた上で、会場の統廃合や実施時間の設定などを見直しながら、さらなる接種率の向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00497　狂犬病予防事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)狂犬病予防注射確認はがき送付枚数	枚	5,200.00 5,664.00	5,200.00 5,572.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00	5,200.00 0.00
	指標説明	注射未実施の飼い主への確認はがき送付枚数						
(成果)狂犬病予防注射接種率	%	80.00 79.50	80.00 79.10	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	狂犬病予防注射接種頭数／登録頭数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0104
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　新野　道郎
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター　記入者　西田　健吾
事務事業番号　02212　地域猫活動支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	003　動物愛護の推進				
事務事業	003　地域猫活動支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市地域猫活動支援事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 飼い主の不明な猫に起因する排泄物等の被害が地域の環境問題となっていることから、地域住民グループが主体となってその猫を適正に管理する地域猫活動に対し動物愛護センターが不妊手術を施す等の支援を行い、一代限りの寿命を全うさせてその数を減らしていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 猫は登録やけい留義務がなく、飼い主の不明な猫を捕獲できる根拠もないため、地域の屋外にいる猫に関する諸問題がある。 （見直しや改善等の経過） 毎年地域猫活動団体に対しアンケートを実施しており、結果について取りまとめホームページで公開し、現状を周知し啓発している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市内にいる飼い主の不明な猫を適正に管理する地域住民グループに
目的（何のために）	飼い主の不明な猫による排泄物等の被害に対する苦情、相談及びそういった猫が産んだ子猫の引き取り依頼に対処するため
手段（どのようなやり方で）	管理する猫をセンターに持ち込んでもらい、センターが不妊手術を施した後、地域に返し管理してもらい、その猫の一代限りの寿命を全うさせることで
成果（どのような状態にするのか）	飼い主の不明な猫の数を減らして、それらによる被害を減少させるとともに、それらの産んだ子猫の引き取り数を減らす。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	7,912	8,349	8,622	8,389	8,389	8,389	8,389
事業費	112	109	382	389	389	389	389
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	112	109	382	389	389	389	389
人件費計	7,800	8,240	8,240	8,000	8,000	8,000	8,000
事務・技術（人）	1.00	1.03	1.03	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0104
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
事務事業番号　02212　地域猫活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-02-00	地域猫活動支援事業費	健康福祉部保健所衛生課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域猫活動団体数（累計）	件	67.00	95.00	98.00	101.00	104.00	107.00	107.00
		92.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子猫の引取り数	頭	23.00	22.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00
		11.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	飼い主の不明な猫の諸問題への対策は市の実施が妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	団体が順調に増加し、子猫の引取り数が低い水準を維持している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	不妊手術について事前予約により計画的に実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	飼い主の不明な猫による諸問題への対策に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	飼い主の不明な猫による糞尿等に関する苦情相談はセンター開設当初から比べると大きく減少している。また、それらの猫が産んだと思われる子猫の引取り数も大きく減少している。活動団体へのアンケートでも、「猫が減った。」「猫がいなくなった。」など良好な回答が多いことから、今後も継続して事業を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市内各地域における地域猫活動団体数は増加し、活動が充実したことで、センターでの猫の引取り数は減少しており、本事業の成果が着実に現れているものと考えられる。今後も飼い主不明な猫の数を減らし、糞尿等による被害を減少させるため、引き続きホームページ等により市民への普及啓発に努め、事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1442　健康福祉部保健所動物愛護センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02212　地域猫活動支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域猫活動団体数（累計）	件	67.00 92.00	95.00 99.00	98.00 0.00	101.00 0.00	104.00 0.00	107.00 0.00	107.00 0.00
	指標説明	地域猫活動支援事業実施要綱に基づく、地域猫活動団体の届出数						
(成果)子猫の引取り数	頭	23.00 11.00	22.00 8.00	16.00 0.00	16.00 0.00	16.00 0.00	16.00 0.00	16.00 0.00
	指標説明	子猫（飼育放棄を除く）の引取り数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0105
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　土蔵　百恵
事務事業番号　00459　精神保健福祉事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	003　心の健康づくりの推進				
事務事業	006　精神保健福祉事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律　自殺対策基本法　ギャンブル等依存症対策基本法				
事業概要	（事業概要） 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方への早期治療及び社会参加の促進を図るとともに、市民のメンタルヘルスの保持増進を図るための諸活動や精神障害者への理解を促すための啓発活動等を行う。 具体的には、精神保健福祉相談と緊急対応を含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族交流会、家族会等の団体支援、自殺対策、依存症対策等を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和４年の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正では、相談支援の対象として精神障害者のほか精神保健に関する課題を抱える者も対象であることが明記された。国がギャンブル等依存症対策推進基本計画を変更し、県も令和６年３月に「滋賀県依存症総合対策計画」を策定している。 （見直しや改善等の経過） 自殺対策計画に基づき自殺対策に取り組んでいる。令和４年度より精神保健に関する課題を抱える方が地域で安定した生活が送れるよう大津市精神保健福祉に関する早期介入・支援事業を実施している。国がギャンブル等依存症対策推進基本計画を変更したことを受け、令和６年度より依存症の周知・相談体制を充実させている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方及び家族が
目的（何のために）	安定した社会生活を送ることができるために
手段（どのようなやり方で）	精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族支援、従事者研修会、自殺対策、市民向け出前講座、正しい知識の普及啓発を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	精神障害者や精神保健に関する課題を抱える方及びその家族が適切な受診行動やサービスを利用し、地域で安心して暮らすことができる。また、精神障害者を正しく理解し、メンタルヘルスに関心を持つ市民が増える。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	56,548	69,076	74,037	72,372	72,372	72,372	72,372
事業費	2,948	3,040	5,361	3,696	3,696	3,696	3,696
国庫支出金	492	198	128	239	239	239	239
県支出金	263	291	1,351	394	394	394	394
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,193	2,551	3,882	3,063	3,063	3,063	3,063
人件費計	53,600	66,036	68,676	68,676	68,676	68,676	68,676
事務・技術（人）	4.60	5.62	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	4.43	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0105
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00459　精神保健福祉事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-70-00-01-00	精神保健福祉事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
		313.00	314.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		3,691.00	3,701.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		11,413.00	11,724.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		30.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	精神保健福祉法に基づき保健所が実施する内容である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	いのちをつなぐ相談員派遣事業において継続した支援ができている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	必要な相談支援ができている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	精神保健に課題を抱える方の支援に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民に対しては、依存症を含む精神疾患やメンタルヘルスに関する理解を深め、予防行動がとれるように引き続き啓発に努める。精神保健に関する課題を抱える方及びその家族には、個別相談、家族交流会、研修会等の支援により、安心して自分らしく暮らせるように支援する。また、自殺対策計画を基に、医療機関や消防との連携を強化し、自殺未遂者支援の充実を図る。状態が悪化してから把握する医療中断者の減少に向けて、医療機関・関係機関との連携を強化する。令和８年度末に大津市自殺対策計画の終期を迎えるため、令和９年度～令和15年度の７年間を計画期間とする第２期大津市自殺対策計画を策定する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	自殺未遂者や依存症等を含め精神保健に関する課題を抱える方やその家族に対し相談支援ができるよう医療機関をはじめ、相談支援事業所等の福祉関係機関、庁内関係各課と更なる連携を図る。またメンタルヘルスに関する知識の普及啓発に努めるとともに、第２期大津市自殺対策計画の策定により自殺対策の更なる推進を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00459　精神保健福祉事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	310.00 313.00	310.00 314.00	310.00 0.00	310.00 0.00	310.00 0.00	310.00 0.00	310.00 0.00
	指標説明	精神保健福祉相談と個別支援、各教室、出前講座、研修会、自殺対策事業等の実施回数						
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	2,000.00 3,691.00	2,000.00 3,701.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	未遂者に対する個別支援、関係機関との連携やケース会議回数						
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	8,000.00 11,413.00	8,000.00 11,724.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
	指標説明	精神保健福祉相談と個別支援等上記事業等の参加者						
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	20.00 30.00	20.00 21.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	いのちをつなぐ相談員派遣事業の新規対象者の人数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0106
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　飯田　真理恵
事務事業番号　00460　難病患者地域支援対策推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	003　心の健康づくりの推進				
事務事業	004　難病患者地域支援対策推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律・難病特別対策推進事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 難病は治療が確立しておらず長期療養が必要である。特に神経難病は、四肢麻痺や呼吸機能の低下により人工呼吸器の装着など重症化する事例が多い。そのため、状態に応じた支援の提供ができるよう在宅療養支援従事者の資質向上を目的とした従事者研修会等の実施とともに関係機関との大津市難病対策地域協議会等の開催により、支援体制の充実を図る。 参考：令和７年度末　特定医療費受給者数３，５６９人、うち神経難病９９８人、人工呼吸器・酸素濃縮器・たん吸引器利用者９１人				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和７年４月から３４８疾患が指定難病対象疾患として指定されている。医療ケアを必要とする在宅療養患者のＱＯＬ向上のため、更なる支援体制の充実、災害時における支援体制の整備が求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成２７年度より大津市難病対策地域協議会で課題の共有や難病患者・家族の支援体制について協議している。難病患者の個別相談・支援を充実させるため、専任の難病相談員を配置している。令和３年度より延べ７９人の災害時個別避難計画を作成した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護支援専門員、訪問看護師、ヘルパー等の在宅療養支援従事者や難病患者とその家族を対象に
目的(何のために)	在宅療養支援従事者の資質向上と難病患者の災害時支援を含めた在宅療養支援体制の充実のために
手段(どのようなやり方で)	従事者研修会、ケース検討会議、大津市難病対策地域協議会、個別相談を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養支援従事者のケアマネジメントやケア技術が向上し、難病患者の支援体制が充実する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,072	15,410	16,836	17,264	17,264	17,264	17,264
事業費	462	290	428	456	456	456	456
国庫支出金	170	139	213	195	195	195	195
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	292	151	215	261	261	261	261
人件費計	13,610	15,120	16,408	16,808	16,808	16,808	16,808
事務・技術（人）	1.15	1.45	1.60	1.65	1.65	1.65	1.65
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.16	0.80	0.82	0.82	0.82	0.82	0.82
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0106
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00460　難病患者地域支援対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-72-00-01-00	難病患者地域支援対策推進事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	24.00 17.00	24.00 16.00	16.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
(活動)難病に関する相談者数（延べ人数）	人	3,355.00 3,881.00	3,355.00 3,526.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数（延べ人数）	人	359.00 207.00	359.00 277.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	難病特別対策推進事業実施要綱等で保健所業務として示されている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	難病に関する相談が目標値を達成しており、対応できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	研修や会議参加者が昨年度より増加している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	療養が長期にわたる難病患者の在宅療養の質向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	難病患者の在宅療養を支えるため、支援機関から難病患者の生活状況や課題・ニーズなど情報収集と協議を行い、ニーズに合った形で大津市難病対策地域協議会及び研修会を実施していく。また、在宅で電源が必要な医療機器を使用する難病患者に対しては、個別避難計画の作成支援等、災害に備えた準備ができるよう引き続き支援する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	難病患者の在宅医療を支えるため、医療機関や居宅介護支援事業所、庁内関係各課等と連携するとともに、大津市難病対策地域協議会及び研修会の充実により、従事者の資質向上に努める。また、災害時の難病患者の安全が確保できるよう、庁内関係各課と連携して個別避難計画の作成支援を着実に進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00460　難病患者地域支援対策推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	24.00 17.00	24.00 16.00	16.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	従事者研修会、ケース検討会議、大津市難病対策地域協議会の実施回数						
(活動)難病に関する相談者数（延べ人数）	人	3,355.00 3,881.00	3,355.00 3,526.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00
	指標説明	来所相談、電話相談、訪問相談、おたずね票・アンケートによる状況確認の延べ人数						
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数（延べ人数）	人	359.00 207.00	359.00 277.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	従事者研修会、ケース検討会議、大津市難病対策地域協議会の参加者数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0107
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　森本　涼歩
事務事業番号　00464　感染症予防事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	018　感染症予防事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
事業概要	（事業概要） 感染症の発生予防から感染拡大の防止及び感染症対策にかかる地域連携体制づくりを進めるため、感染症発生動向調査事業、予防啓発活動、感染症発生時の防疫対応、感染症対策従事者研修会、感染症対策実務担当者連絡会議等を行う。改正感染症法に基づき、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえた感染症予防計画を策定し、新興感染症の急拡大に備える。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境）令和５年４月１日改正感染症法により、保健所設置市において感染症予防計画の策定が義務付けられた。令和７年４月から新興・再興感染症の発生を迅速に探知するための急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）サーベイランスが開始されている。 （見直しや改善等の経過）社会福祉施設及び保育施設における感染性胃腸炎等の集団発生時には、過去に実地指導を行っていない施設等に重点をおいて指導した。社会福祉施設職員対象の研修会では、各施設における感染対策の充実を目的にグループワークを実施した。令和６年３月に策定した大津市感染症予防計画に基づき、新興感染症の発生に備え、消防局、市立大津市民病院、三師会、滋賀県とともに訓練を実施した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民、保健・医療・福祉・教育機関等の関係者に対し
目的（何のために）	感染症の発生予防、感染拡大の防止、感染症対策にかかる地域連携体制づくり及び危機管理体制の整備のために
手段（どのようなやり方で）	ホームページ・メール配信システムや広報による情報提供、健康教育等による感染症に関する啓発活動、研修会や会議等による地域の感染症対策担当者の資質向上と課題の共有・解決に向けた検討会を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	市民が感染症を正しく理解し、適切な行動により発生が予防でき、感染症集団発生のリスクが高い施設等において適切に拡大防止策が講じられている。また、感染症対策にかかる地域連携体制が充実し、危機管理事案への対応ができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	42,925	47,188	36,809	38,156	38,156	38,156	38,156
事業費	15,937	21,736	7,729	9,076	9,076	9,076	9,076
国庫支出金	11,092	11,167	3,628	4,262	4,262	4,262	4,262
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,845	10,569	4,101	4,814	4,814	4,814	4,814
人件費計	26,988	25,452	29,080	29,080	29,080	29,080	29,080
事務・技術（人）	3.46	3.11	3.36	3.36	3.36	3.36	3.36
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.13	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0107
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00464　感染症予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-03-00	感染症予防事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)社会福祉施設等の感染症集団発生報告に基づく指導実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(活動)感染症情報の発信回数	回	180.00 169.00	180.00 263.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
(成果)前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	20.00 40.50	20.00 35.10	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)感染症情報を発信した市民及び関係機関の延べ数	件	5,000.00 20,572.00	5,000.00 27,895.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	感染症法に基づき保健所が実施する事業である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	前年度と比べ発生率が低下している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	情報発信回数が増加している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の安心・健康な暮らしに貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	感染症予防計画を着実に推進する。 引き続き感染症の集団発生リスクの高い社会福祉施設に対しては、施設が異常を早期に探知し、適切に感染拡大防止対策を実施することにより早期に終息できるよう、研修会の実施や研修動画の作成及び周知を行うとともに、所管課との連携に努める。また、重症化リスクの高い高齢者・障がい者施設で集団発生が疑われる場合は、必要に応じ感染管理認定看護師の支援を得て、速やかに積極的疫学調査を実施し、感染拡大を防止できるよう指導する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	平時から関係機関と連携し感染症対策及び体制整備を図るとともに、適切に情報提供や啓発活動を行い感染症の発生及び拡大の防止に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00464　感染症予防事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)社会福祉施設等の感染症集団発生報告に基づく指導実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	統計の現地調査及び感染拡大防止のための指導						
(活動)感染症情報の発信回数	回	180.00 169.00	180.00 263.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
	指標説明	感染症発生動向調査情報（週報、月報）のホームページ掲載、臨時の情報発信						
(成果)前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	20.00 40.50	20.00 35.10	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	前年度指導実施施設等の感染症集団発生率（学校保健安全法が適用される施設を除く）						
(成果)感染症情報を発信した市民及び関係機関の延べ数	件	5,000.00 20,572.00	5,000.00 27,895.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00
	指標説明	情報発信回数×情報発信した市民及び機関数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0108
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　斉田　恵津子
事務事業番号　00466　特定感染症予防対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	005　特定感染症予防対策事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律、特定感染症予防指針				
事業概要	（事業概要） 特定感染症【エイズ、梅毒、Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎、ＨＴＬＶ－１（ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型）感染症】の早期発見・早期治療のため、保健所で匿名・無料による検査を実施している。特定感染症に関する予防・啓発、ＨＩＶ陽性者への個別支援、肝炎治療特別促進事業の受付業務を行っている。 妊娠を希望する女性等を対象に風しん抗体検査を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の流行で全国的に検査数が減少し、令和７年度も流行以前の水準には達しておらず、大津市でも同様である。一方で、梅毒患者の発生数は令和３年以降大きく増加傾向にあり、大津市でも令和７年度は２０件の発生届を受理している。 （見直しや改善等の経過） ＨＩＶの新規登録患者は２０～４０代の男性の、梅毒は２０～５０代の増加が問題になっていることから、大学や専門学校、商業施設、事業所にポスター掲示や資材を設置し、若年層を含め広く性感染症予防啓発を行った。 また梅毒やＨＩＶについて、市ＨＰにＹｏｕＴｕｂｅ動画を掲載し啓発している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	特定感染症の発生予防、早期発見・早期治療、感染拡大の防止および感染者への支援のために
手段(どのようなやり方で)	無料・匿名による性感染症検査・相談、リスクの高い層への予防啓発、ＨＩＶ陽性者に対する個別支援を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	特定感染症について正しく理解し、行動することができる市民が増える。感染しても個別支援により必要な医療を受け、安心して生活できる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,614	15,612	18,488	19,034	19,034	19,034	19,034
事業費	23,850	5,128	4,404	4,950	4,950	4,950	4,950
国庫支出金	8,490	2,425	2,163	2,457	2,457	2,457	2,457
県支出金	2	10	2	2	2	2	2
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,358	2,693	2,239	2,491	2,491	2,491	2,491
人件費計	9,764	10,484	14,084	14,084	14,084	14,084	14,084
事務・技術（人）	0.98	1.03	1.48	1.48	1.48	1.48	1.48
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.53	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0108
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00466　特定感染症予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-10-00	特定感染症予防対策事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)特定感染症検査の啓発活動・ＨＩＶ予防啓発活動の回数	回	45.00	45.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
		194.00	201.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)特定感染症検査実施回数（日数）	回	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
		23.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,138.00	1,063.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		564.00	629.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	特定感染症予防指針に基づき実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	学校及び事業者の協力により、広く啓発できた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	感染者の多い若い世代に啓発し、若年層の受検率が向上している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	感染者の多い世代への予防啓発により、受検者数は増加			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	引き続き、若年層に対しては感染防止行動がとれるよう、また感染の可能性がある市民に対しては検査が受けられるよう、効果的な周知・啓発活動を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	特定感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努める。また、感染の不安がある方が、特定感染症検査の検査を受けられるよう感染者の多い世代を中心に保健所で実施している検査を周知し、感染者の早期発見、感染拡大防止に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00466　特定感染症予防対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)特定感染症検査の啓発活動・ＨＩＶ予防啓発活動の回数	回	45.00 194.00	45.00 201.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
	指標説明	資材設置協力校、医療機関等の延べ数＋広報回数＋介護保険課情報提供会での啓発回数						
(活動)特定感染症検査実施回数（日数）	回	22.00 23.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	特定感染症検査実施の年間実施回数（日数）						
(成果)特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	1,200.00 1,138.00	1,200.00 1,063.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	来所・電話相談件数						
(成果)特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	800.00 564.00	800.00 629.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
	指標説明	来所による検査実施件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0109
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　山下　千晴
事務事業番号　00467　結核予防対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	006　結核予防対策事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
事業概要	（事業概要） 患者発生時には患者の疫学調査、服薬療養支援、医療費の公費負担と入院勧告・就業制限に係る審議をするための感染症診査会の開催、接触者健診、精密検査を実施する。結核は市内で毎年４０人程度発生しており、最も多い感染症の一つであることから、予防啓発活動を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 結核は全国的に高齢者及び外国出生の患者が多くを占めており、大津市においても約半数が高齢者であり、外国出生者も増加傾向にある。令和７年度の大津市の結核新登録患者数（潜在性結核感染症患者を含む）は４０人で、内１０人は重症化（排菌患者）してからの発見であった。 （これまでの見直し） 外国出生結核患者の増加に対応するため、通知文等の必要書類を３か国語に翻訳した。また、外国人介護職員受入れ事例発表会・外国人介護職員による研究発表会で、滋賀県と合同で、事業者に対し、外国出生者の結核の啓発を行った。介護認定者に発行する認定証書送付時に結核健康診断の周知に関するチラシを同封し啓発した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び結核患者とその接触者に対し
目的(何のために)	結核患者の早期発見、早期治療及びまん延の防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	市民に対しては介護保険課、保険年金課、健康推進課及びすこやか相談所、あんしん長寿相談所等と連携した啓発を実施し、患者発生時には速やかな疫学調査・接触者健診、訪問等による服薬指導など療養を支援することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が結核について理解し、検診受診・早期受診の行動をとることができる。患者においては確実に内服し、治療を完遂することができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	33,023	33,408	32,291	32,406	32,406	32,406	32,406
事業費	9,133	6,768	8,091	8,286	8,286	8,286	8,286
国庫支出金	1,498	1,047	1,163	1,271	1,271	1,271	1,271
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,635	5,721	6,928	7,015	7,015	7,015	7,015
人件費計	23,890	26,640	24,200	24,120	24,120	24,120	24,120
事務・技術（人）	2.15	2.23	1.76	1.75	1.75	1.75	1.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.78	2.00	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0109
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00467　結核予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-15-00	結核予防対策事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)治療完遂率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	結核対策は法令に基づき市が実施しなければならない事業である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	治療完遂率が１００%である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	個別の事情に合わせた支援・対応をしている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の安心・健康な暮らしに貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	大津市の結核患者の約半数が高齢者であり、介護サービス利用者も多いことから、集団感染を予防するために定期健診や発症時の早期受診の必要性を周知する。また高齢の結核患者については介護従事者に協力を得て治療完遂まで服薬支援を行う。 令和７年度の大津市の結核患者の約１／４が外国出生者であり、日本出生患者と比べて発見が遅いことから、外国人就労者と関わる介護施設関係団体や外国人技能実習制度における監理団体等に対し、健康管理について協力が得られるよう情報を共有する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	結核に関する正しい知識の普及・啓発活動を実施し、早期発見・早期治療を行うことで、感染拡大防止や発症の予防に努める。結核患者の多い高齢者層や増加傾向にある結核蔓延国出身者においては、利用・就労する施設等での集団発生を予防するために定期健診や有症時の早期受診を勧めるなど、関係機関との連携を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00467　結核予防対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	訪問、来所、電話による対応						
(成果)治療完遂率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	治療を完遂した患者の割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0110
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　金本　正彦
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課　記入者　五島　あゆみ
事務事業番号　00468　予防接種事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008　地域医療と保健衛生の確保				
取組の方向性	002　健康危機管理対策の推進				
事務事業	007　予防接種事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	予防接種法				
事業概要	（事業概要） 市民がかかりつけ医等の身近な医療機関で自身の体調に合わせて予防接種を受けられるよう、医療機関に委託し予防接種事業を行っている。 令和４年４月からは、造血幹細胞移植後の再接種費用助成制度を開始した。 令和７年４月から帯状疱疹ワクチンが定期接種化された。また、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種及び麻しん・風しんワクチンについては経過措置接種を実施した。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 定期接種の種類は年々増加し、制度が複雑化しており、予防接種事業従事者の知識の向上がより重要となってきている。また、国において予防接種事務のデジタル化が進められている。 （見直しや改善等の経過） 制度改正に伴いマニュアル等を改訂し医療機関への情報の周知に努めるとともに、間違い接種への注意喚起を行い、円滑な接種、事故防止を図っている。個別通知や学校等を通じての周知、ＳＮＳを通じた啓発を行い接種率向上に努めている。また、予診票と接種券を１枚化することで、接種を受ける市民や医療機関の事務的な負担軽減に取り組んだ。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することにより、疾病の発生及びまん延、重症化を予防するために
手段(どのようなやり方で)	委託医療機関による個別接種を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	感染症の発生予防につなげる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,690,035	1,172,246	1,337,292	1,338,364	1,338,364	1,338,364	1,338,364
事業費	1,634,455	1,112,302	1,275,132	1,276,204	1,276,204	1,276,204	1,276,204
国庫支出金	102,780	50,458	48,562	48,562	48,562	48,562	48,562
県支出金	76	241	887	469	469	469	469
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	149,459	2,988	1	1	1	1	1
一般財源	1,382,140	1,058,615	1,225,682	1,227,172	1,227,172	1,227,172	1,227,172
人件費計	55,580	59,944	62,160	62,160	62,160	62,160	62,160
事務・技術（人）	5.30	5.37	5.90	5.90	5.90	5.90	5.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.56	3.86	3.40	3.40	3.40	3.40	3.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0110
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
事務事業番号　00468　予防接種事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-43-00-01-00	予防接種事業費	健康福祉部保健所保健予防課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	76,000.00 64,640.00	62,000.00 58,674.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	47,000.00 48,986.00	48,000.00 50,283.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00 91.45	100.00 90.85	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00 51.10	51.00 52.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	予防接種法事基づき市が実施する事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	疾病予防に有効なワクチン接種により、感染症の発生予防に寄与			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	医療機関委託による個別接種であり近くのかかりつけ医で接種可			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	予防接種の推進により、感染症の発生及びまん延防止に貢献			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	引き続き接種率の向上や間違い接種の防止に向けて、医療機関への情報周知に努める。市民には予防接種についての正しい情報を広報誌やホームページ等で積極的に発信する。また、新たに加わる定期接種の動向については早期に情報を把握し、丁寧な周知に努める。 今後は、国の進める予防接種事務デジタル化に適切に対応していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	医療機関との連携により、予防接種の安全かつ円滑な実施に努める。また、市民に対し予防接種の必要性や有効性について周知・広報を行い、接種率の向上を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1443　健康福祉部保健所保健予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00468　予防接種事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	76,000.00 64,640.00	62,000.00 58,674.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00	62,000.00 0.00
	指標説明	各予防接種の延接種者数（出生数×受けるワクチン数）						
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	47,000.00 48,986.00	48,000.00 50,283.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00	48,000.00 0.00
	指標説明	高齢者インフルエンザの接種者数						
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00 91.45	100.00 90.85	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	個別勧奨している予防接種（ＭＲ２期、二種混合）の平均予防接種率（接種者数／対象者数）						
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00 51.10	51.00 52.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00
	指標説明	接種率（接種者数／対象者数）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0111
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　藤﨑　ともみ
事務事業番号　00479　歯科保健推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	生涯にわたる健康づくりの推進			
取組の方向性	001	生活習慣病予防と健康寿命の延伸			
事務事業	018	歯科保健推進事業			
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律				
事業概要	（事業概要） 歯科保健事業を円滑に実施するために必要な事項を調査審議することを目的に、歯科保健推進協議会を設置している。成人歯科保健対策として、歯周病検診及び集団特定健診結果説明会での歯周病リスク検査、歯科健康教育を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 歯周病検診の対象者は就労世代であるが、各保険者において歯科検診はほとんど実施されていない。 （見直しや改善等の経過） 歯周病検診の節目対象者には個別受診勧奨はがきを送付、妊婦には無料クーポン券及び案内チラシを配布し周知・啓発を行っている。 若年からの歯周病予防のさらなる推進のため、令和７年度から歯周病検診の対象者に25歳を追加した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	歯周病検診については、25歳・30歳・35歳・40歳・45歳の市民及び妊婦（市民）を対象に
目的(何のために)	かかりつけ歯科を持ち、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯・口腔に関する意識の向上を図るために
手段(どのようなやり方で)	地域の実施歯科医療機関において、歯科検診及び歯科保健指導を実施し
成果(どのような状態にするのか)	自身の口腔内の状態を知り、健康管理のできる市民が増える

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,674	15,380	14,833	14,979	15,129	14,979	14,979
事業費	7,054	8,536	7,989	8,135	8,285	8,135	8,135
国庫支出金	0	3,937	2,914	2,771	2,771	2,771	2,771
県支出金	1,125	1,094	1,082	1,050	1,200	1,050	1,050
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	455	457	441	397	397	397	397
一般財源	5,474	3,048	3,552	3,917	3,917	3,917	3,917
人件費計	8,620	6,844	6,844	6,844	6,844	6,844	6,844
事務・技術（人）	1.10	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0111
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　00479　歯科保健推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-45-00	歯科保健推進事業費	健康福祉部保健所健康推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）歯周病検診の受診者数	人	1,213.00 1,426.00	1,800.00 1,483.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
（成果）歯周病検診の受診率	%	6.60 8.10	9.90 7.20	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が行うのが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診人数は増加傾向にある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	妊婦に対して母子手帳の配布時にクーポン券を渡している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	歯周病の早期発見のために就労世代の健康増進に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	歯周病は糖尿病を悪化させるとともに、妊婦には早産のリスクを高めるなど、全身の健康との関連が指摘されているため、歯周病検診の受診勧奨に努める。また、検診結果を分析し、歯・口腔の健康の保持・増進に向けた啓発や情報提供を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	歯周病検診について対象者の拡大を行い、予防・早期発見・早期治療を推進している。今後も関係団体と連携し、さらなる受診率の向上に向けた取組を進めていく。また、歯・口腔の健康の保持・増進に向けた啓発を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00479　歯科保健推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）歯周病検診の受診者数	人	1,213.00 1,426.00	1,800.00 1,483.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
	指標説明	歯周病検診の受診者数						
（成果）歯周病検診の受診率	%	6.60 8.10	9.90 7.20	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00	9.90 0.00
	指標説明	受診者数／対象者数×100						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0112
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　守﨑　満奈美
事務事業番号　00481　健康推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	001　生活習慣病予防と健康寿命の延伸				
事務事業	020　健康推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	食育基本法、健康増進法				
事業概要	（事業概要） 健康は家庭生活の基盤であり、健康づくりのための正しい知識の普及に努めることが重要である。 この目的を達成するために、平成１０年度より地域の健康づくりリーダーである健康推進員を養成している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病の予防等の健康づくりを推進していくことは重要であり、市民の関心も高い。市民自らの健康づくりを支援するため、地域の健康づくりリーダーの養成が求められる。 （見直しや改善等の経過） 養成講座において、養成期間を短縮して実施することや社会情勢に応じた内容にするなど、必要に応じて変更や見直しを行い開催。広報おおつにて周知し公募を行い、活動の継続のため事前説明会を実施。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	健康推進員養成講座受講者及び大津市健康推進連絡協議会会員に
目的(何のために)	地域の健康づくりを推進するため
手段(どのようなやり方で)	養成講座や、会員研修・専門研修会を開催し、地域の健康づくりリーダーである健康推進員の養成及び、現役健康推進員の資質向上を図る
成果(どのような状態にするのか)	健康推進員が地域の健康づくりリーダーとして活躍する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	5,069	5,130	5,168	5,180	5,180	5,180	5,180
事業費	1,559	1,530	1,568	1,580	1,580	1,580	1,580
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,559	1,530	1,568	1,580	1,580	1,580	1,580
人件費計	3,510	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
事務・技術（人）	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0112
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　00481　健康推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-04-00	健康推進事業費	健康福祉部保健所健康推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)養成講座受講者数	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		12.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)研修受講率（参加学区数／学区数）	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		90.70	79.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)養成講座修了率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	69.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康おおつ２１に基づく事業であり市が実施するのが妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	研修受講率の目標値をほぼ達成できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	養成講座や会員研修等で最新の知識や情報を得られている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	健康推進員が地域の健康づくりリーダーとして活躍している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民の健康づくりを支援するためには、地域で健康づくり活動を推進するリーダーとなる人材が必要であることから、引き続き、健康推進員の養成講座や現役健康推進員の資質向上のための研修会を実施する。また、「大津市がん対策推進基本計画」をはじめとする各種計画に記載された健康推進員の役割が果たせるよう、関係各課との連携や活動計画の作成等の支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民の健康づくりには、地域での健康づくり活動が重要であり、健康推進連絡協議会の着実な活動が欠かせない。引き続き地域活動の担い手となる健康推進員の養成や、健康推進員の資質向上のための研修を実施する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00481　健康推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	会員研修・専門研修の開催回数						
(活動)養成講座受講者数	人	30.00 12.00	30.00 9.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	養成講座の受講者数						
(成果)研修受講率（参加学区数／学区数）	%	80.00 90.70	80.00 79.20	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	会員研修・リーダー研修の受講率						
(成果)養成講座修了率	%	100.00 100.00	100.00 69.20	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	養成講座を修了した方の率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0113
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　佐藤　宏祐
事務事業番号　00489　基本健康診査事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	001　生活習慣病予防と健康寿命の延伸				
事務事業	015　基本健康診査事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	（事業概要） 健康増進法に基づき、医療保険に加入していない４０歳以上の生活保護受給者等を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防のための基本健康診査を医療機関に委託して実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 生活保護受給者の増加に伴い医療扶助額も増加している。 （見直しや改善等の経過） 平成２０年４月の医療保険制度改革により、老人保健法に基づき行われていた住民全員を対象とする健診がなくなり、医療保険未加入者に対しては健康増進法に基づき、市町村の衛生担当部局が健康診査等を行うこととなった。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	４０歳以上で医療保険に加入していない大津市の生活保護受給者及び中国残留邦人等支援給付の受給者
目的（何のために）	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）をはじめとした生活習慣病の早期発見及び重症化予防を図ることを目的とする。
手段（どのようなやり方で）	市内登録医療機関において６月から翌年の１月まで基本健康診査を実施
成果（どのような状態にするのか）	健診受診者数及び受診率の向上を図り、医療機関で健診結果の説明を受けることで、健康の保持増進につながる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	6,452	6,867	5,847	7,354	6,474	6,474	6,474
事業費	3,132	3,107	2,967	3,594	3,594	3,594	3,594
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	2,177	2,066	1,969	2,374	2,374	2,374	2,374
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	955	1,041	998	1,220	1,220	1,220	1,220
人件費計	3,320	3,760	2,880	3,760	2,880	2,880	2,880
事務・技術（人）	0.40	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.40	0.20	0.40	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0113
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　00489　基本健康診査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-15-00	基本健康診査事業費	健康福祉部保健所健康推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）基本健康診査受診者数	人	280.00 307.00	280.00 289.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00
（成果）基本健康診査受診率	%	10.50 9.80	10.50 9.30	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診率が目標値に達していない。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	個別に受診券を発送している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	受診率の向上に課題があるが、生活習慣病の早期発見に寄与できた			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	生活福祉課と連携し、受診率の向上を図り、対象者の健康保持増進につながるよう努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	生活保護受給者に対する生活習慣病の早期発見のために、生活福祉課との連携を強化していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00489　基本健康診査事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）基本健康診査受診者数	人	280.00 307.00	280.00 289.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00	280.00 0.00
	指標説明	基本健康診査の受診者数						
（成果）基本健康診査受診率	%	10.50 9.80	10.50 9.30	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00	10.50 0.00
	指標説明	受診者数／対象者数×100						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0114
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　中谷　敬子
事務事業番号　00563　特定健診・保健指導事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006　地域福祉の推進と社会保障制度の安定運営				
取組の方向性	003　暮らしの安心と健康を支える基盤の安定				
事務事業	051　特定健診・保健指導事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
事業概要	（事業概要） メタボリックシンドロームに着目した健康診査（特定健康診査）及び保健指導（特定保健指導）の実施が医療保険者に義務付けられ、生活習慣病を中心とした疾病予防及び医療費の適正化を目指すことになった。このことにより、大津市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき事業を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 国民健康保険被保険者数は減少傾向にあることから、特定健康診査の受診対象者は減少している。 （見直しや改善等の経過） 特定健康診査受診率向上のため、ナッジ理論を取り入れた受診勧奨を実施。特定保健指導実施率向上のため、電話及び文書郵送による再勧奨を実施。集団健診受診者に対しては結果説明会を実施。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	４０歳から７４歳までの大津市国民健康保険被保険者
目的（何のために）	メタボリックシンドロームの該当者や予備軍を早期に発見し、健診結果に合わせて特定保健指導を行うことで、生活習慣病の発症と重症化の防止を図る
手段（どのようなやり方で）	特定健康診査は、個別健診と集団健診を実施し、特定保健指導は、市保健師の実施に加えて、医療機関や事業者に委託することで実施率の向上に努めている
成果（どのような状態にするのか）	健康寿命の延伸を図り、医療費の抑制を目指す

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	208,241	210,508	237,316	267,428	267,428	267,428	267,428
事業費	192,143	189,772	216,252	246,364	246,364	246,364	246,364
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	86,495	80,199	73,354	100,000	100,000	100,000	100,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	86,495	80,199	93,254	100,000	100,000	100,000	100,000
一般財源	19,153	29,374	49,644	46,364	46,364	46,364	46,364
人件費計	16,098	20,736	21,064	21,064	21,064	21,064	21,064
事務・技術（人）	1.11	1.58	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.86	1.84	1.66	1.66	1.66	1.66	1.66
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0114
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　00563　特定健診・保健指導事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-80-00-01-00	特定健診・保健指導事業費	健康福祉部保険年金課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）特定健診受診者数	人	19,964.00 16,083.00	20,517.00 15,691.00	21,959.00 0.00	23,340.00 0.00	24,661.00 0.00	25,925.00 0.00	25,925.00 0.00
（活動）保健指導実施者（終了者）数（当該年度は利用者数）	件	534.00 198.00	643.00 169.00	783.00 0.00	933.00 0.00	1,092.00 0.00	1,260.00 0.00	1,260.00 0.00
（成果）特定健診受診率	%	42.00 39.50	44.00 39.80	48.00 0.00	52.00 0.00	56.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
（成果）特定保健指導実施率　※前年度法定報告の数値	%	25.00 18.00	29.00 17.50	33.00 0.00	37.00 0.00	41.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	大津市国保加入者を対象とする事業であり市が実施することが妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受診率が向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	ナッジ理論を取り入れた受診勧奨を行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	生活習慣病の発症と重症化の防止に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	受診勧奨により、特定健康診査の受診率向上が見られた。特定健診受診率、保健指導実施率ともに目標値に達しておらず、引き続き医療機関等との連携を含めた受診・利用勧奨に努めるとともに、受診しやすい健診体制を整える。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	受診勧奨により特定健康診査の受診率は向上している。特定健康診査、特定保健指導ともに、さらなる受診率の向上に向けて、医療機関等との連携を行いながら、受診勧奨を行い、事業の推進に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00563　特定健診・保健指導事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）特定健診受診者数	人	19,964.00 16,083.00	20,517.00 15,691.00	21,959.00 0.00	23,340.00 0.00	24,661.00 0.00	25,925.00 0.00	25,925.00 0.00
	指標説明	健診受診対象者数（計画）に対する受診者数（評価時点の法定報告値（数値の確定は１０月））						
（活動）保健指導実施者（終了者）数（当該年度は利用者数）	件	534.00 198.00	643.00 169.00	783.00 0.00	933.00 0.00	1,092.00 0.00	1,260.00 0.00	1,260.00 0.00
	指標説明	健診受診対象者数（計画）に対する保健指導実施件数（評価時点の法定報告の値（数値の確定は翌年度の１０月））						
（成果）特定健診受診率	%	42.00 39.50	44.00 39.80	48.00 0.00	52.00 0.00	56.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	受診者数／受診対象者数（法定報告）×１００（評価時点の法定報告値。確定は１０月）						
（成果）特定保健指導実施率　※前年度法定報告の数値	%	25.00 18.00	29.00 17.50	33.00 0.00	37.00 0.00	41.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00
	指標説明	特定保健指導実施者数／特定保健指導対象者数（法定報告）×１００　第３期データヘルス計画目標値						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0115
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　西川　幸恵
事務事業番号　01842　がん検診推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003　生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007　生涯にわたる健康づくりの推進				
取組の方向性	001　生活習慣病予防と健康寿命の延伸				
事務事業	011　がん検診推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	健康増進法				
事業概要	（事業概要） がん検診の受診率向上を目指し、特定の対象者へ無料クーポン券（子宮頸がん検診、乳がん検診）や各種がん検診の受診券を個別送付する。特に女性のがん検診（子宮頸がん、乳がん検診）については、無料クーポン券（40,41歳）に加え、国が特に受診を推奨する年齢の方（42～69歳）全員に受診券を送付しており、受診勧奨の強化に努めている。 また、検診の結果、精密検査が必要となった後、未受診となっている方に対しても、精密検査を受診するよう個別に勧奨している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 国民の死亡原因の第一位はがんであり、年間３０万人以上の方が死亡している。本市においても、がんは、主要死因全体の約２５％を占めている。 （見直しや改善等の経過） がん検診の受診率向上を図るため、従来の無料クーポン券に加え、受診券を送付することで個別の受診勧奨を実施している。令和６年度には胃がん検診の追加勧奨を、令和７年度には胃がん検診の追加勧奨及び肝炎ウイルス検診の再勧奨を追加して実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	がんの早期発見により、がんによる死亡率の減少を図るため
手段(どのようなやり方で)	特定の対象者へ無料クーポン券や受診券を送付することにより、また、精密検査未受診者への個別勧奨の実施により
成果(どのような状態にするのか)	がん検診及び精密検査の受診を促進し、がんの早期発見、早期治療につなげる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,662	27,255	28,905	29,368	29,368	29,368	29,368
事業費	13,600	16,935	18,905	19,368	19,368	19,368	19,368
国庫支出金	6,419	7,902	8,811	9,477	9,477	9,477	9,477
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,181	9,033	10,094	9,891	9,891	9,891	9,891
人件費計	10,062	10,320	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
事務・技術（人）	1.29	1.29	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0115
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　01842　がん検診推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-15-00-25-00	がん検診推進事業費	健康福祉部保健所健康推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＳＮＳを活用したがん検診情報の発信回数	回	0.00	45.00	50.00	55.00	60.00	60.00	60.00
		42.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)がん検診精密検査受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		95.24	95.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津市がん検診受診率（６９歳以下）※廃止	%	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		27.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体となって、市民に対して実施するものである。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	前年度より精密検査受診率（５がん平均）が増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	ナッジ理論を取り入れた受診勧奨を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	精密検査の受診率向上によりがんの早期発見に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	医療機関等と連携し、国の指針に基づく効果的な検診を実施、受診しやすい検診体制を整えていく。市民に対しては、引き続き、がん検診の必要性を周知し、受診率の向上を図るとともに、検診の結果、精密検査が必要となった際には、医療機関を確実に受診し、がんの早期発見・早期治療につながるよう支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	精密検査の受診率は昨年度よりも向上しており、高い水準で維持できている。引き続き、市民に対してがん検診の必要性を周知するなど、がん検診及び精密検査の更なる受診率向上に向けた取組を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01842　がん検診推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＳＮＳを活用したがん検診情報の発信回数	回	0.00 42.00	45.00 30.00	50.00 0.00	55.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	ＬＩＮＥ、メール配信等を活用したがん検診情報の発信回数。令和7年度より活動指標とする。						
(成果)がん検診精密検査受診率	%	100.00 95.24	100.00 95.61	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	前年度に要精密検査となった受診者の精密検査受診率（５がん平均）						
(成果)大津市がん検診受診率（６９歳以下） ※廃止	%	30.00 27.30	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	【廃止】５がんの検診受診率の平均（胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診率は大津市国保加入者の人間ドッグを含む）。数値の性質が適していないため、令和7年度以降は活動指標から除外する。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0116
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　藤原　順二
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課　記入者　西川　幸恵
事務事業番号　02672　がん対策推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	生涯にわたる健康づくりの推進			
取組の方向性	001	生活習慣病予防と健康寿命の延伸			
事務事業	014	がん対策推進事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	がん対策基本法、大津市がん対策推進条例				
事業概要	（事業概要） 「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及びがんの早期発見・早期治療、がんになっても安心して暮らせるまちづくりを推進していくため、「大津市がん対策推進基本計画」を策定し、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者、市がそれぞれの役割を持ち、協働のもとでがん対策を推進していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 日本人の２人に１人は一生のうちに何らかのがんに罹患すると言われ、予防、早期発見に加え、若い世代から高齢者まで様々なライフステージにおいて日常生活と療養の両立ができる支援が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和７年度に令和１２年度までを計画期間とする「第２期大津市がん対策推進基本計画」を策定し、「誰もが自分を大切にし、がんになっても安心して暮らせるまち、おおつ」を計画の基本理念として、基本目標である「がんの予防」と「がんとの共生」を目指して取組を進めていく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健医療関係者、事業者及び教育関係者を対象とし
目的(何のために)	がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援を行うため
手段(どのようなやり方で)	大津市がん対策推進基本計画に基づき、計画期間において適宜見直しを行いながら、効果的な施策を展開することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が自分を大切にし、がんになっても安心して暮らせるまちになっている

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	23,542	16,028	15,516	20,804	15,834	15,834	20,804
事業費	10,722	2,796	2,524	7,812	2,842	2,842	7,812
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	693	754	800	920	920	920	920
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,029	2,042	1,724	6,892	1,922	1,922	6,892
人件費計	12,820	13,232	12,992	12,992	12,992	12,992	12,992
事務・技術（人）	1.50	1.50	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0116
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
事務事業番号　02672　がん対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-75-00	がん対策推進事業費	健康福祉部保健所健康推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	2,100.00	2,200.00	2,400.00	2,600.00	2,800.00	3,000.00	3,000.00
		906.00	654.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)アピアランスケア支援事業助成件数	件	130.00	170.00	175.00	175.00	180.00	180.00	180.00
		141.00	155.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)民間事業所におけるＴＡＣキャンペーン活動数	機関	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00
		6.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市の条例に基づく事業であり、市が実施することが妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	取組による成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	ＴＡＣキャンペーンへの参加事業所を増やすための取組が必要			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	アピアランスケア支援事業が社会参加の一助になっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	がんについて正しく理解し、安心して生活できる市民が増えるよう、引き続きがん予防やがん検診、がんの治療や相談機関等の周知啓発に努める。事業者との連携により、働く世代へのがん対策に関する取組を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	がん対策推進基本計画に基づき、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者等との連携を図りながら、「がん予防」や「がんとの共生」に係る事業を推進する。また、がん対策推進委員会等に諮りながら、進捗の管理を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1402　健康福祉部保健所健康推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02672　がん対策推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	2,100.00 906.00	2,200.00 654.00	2,400.00 0.00	2,600.00 0.00	2,800.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00
	指標説明	がんに関する情報サイトの閲覧件数						
(成果)アピアランスケア支援事業助成件数	件	130.00 141.00	170.00 155.00	175.00 0.00	175.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
	指標説明	医療用ウィッグ等購入費用にかかる助成の数。						
(成果)民間事業所におけるＴＡＣキャンペーン活動数	機関	20.00 6.00	30.00 7.00	40.00 0.00	50.00 0.00	60.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	1月～2月キャンペーン期間にがんについて考える活動をした民間事業所などの機関数。						